

古河二高を卒業して

平成三十年卒業（七十回生）

植 竹 優 希



私は古河第二高等学校の福祉科を卒業し、現在社会福祉学科のある大学に通っています。ここでは

社会福祉を中心に制度や社会問題などについて学び、「共生社会」をつくる人材を目指しています。

大学は高校とは違い、自ら授業を選択するなど、自分の責任で行動することが多くあります。また、大学ではレポートを書く機会が多く、自分の考えを述べる事がとても重要になってきます。私は自分の考えをまとめることがあまり得意なほうではなく、高校時代、介護実習の記録を書く際もなかなか書くことが出来ず、最後まで学校に残り、先生方からの指導を受けることも多々ありました。しかし、ひとつずつ進めていくことで、徐々に出来るようになり、今ではレポートをスムーズに書くことにもつながっていると感じています。

高校で学んだ知識や技術が社会に出てからつながってくると思うので、在校生の皆さんには、今やるべきことをしっかりとひとつひとつ取り組み、悔いの残らない高校生活を送ってほしいと思います。

卒業したばかりの初々しい12名を平成30年度クラス幹事として迎えました。歴史と伝統の古河二高同窓生として共に母校を支える力となる事を期待します。



平成30年度卒業（71回生）

入会式



荒初ひかりさん

クラス幹事の紹介

平成30年度卒業（高校71回）

6組

峯

佳奈美

岡崎 優美

5組

福島

和磨

中村 優斗

4組

川崎

愛

大塚 郁弥

3組

須永

紗季

(副幹事長)

飯田 翔

2組

岡田

康汰

荒初 ひかり

(幹事長)

1組

横山

碧

山本 麗香

